

地域づくりの源は「協議体」に、 協議体づくりは地域の納得から !!

地域の強力な組織力と実践力を底力に、地域の特色にある弱みを強みで補完することで、将来につながる安全、安心の校区社会の実現を目標に、校区一丸となり、その原動力となる「協議体」の設置に全力を傾注した。

«とことん話し合うバイ “地域のこだわり”»

地域づくりの源は「協議体」に、協議体づくりは地域の納得から !!



ひとよし おこぼ
— 熊本県人吉市大畑校区 —

100年の歴史を経た大畑駅で
毎週、地域の高齢者が出迎え
おもてなしを行っている。



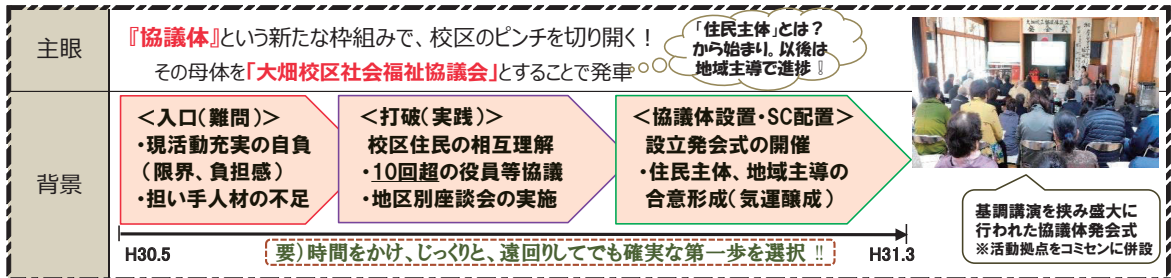
大畑駅に連結するループと
スイッチバックを走るななつ星

目的：校区の自主性尊重による、目指す第2層（小学校区）協議体の創造と土台にある構成町内の体力強化

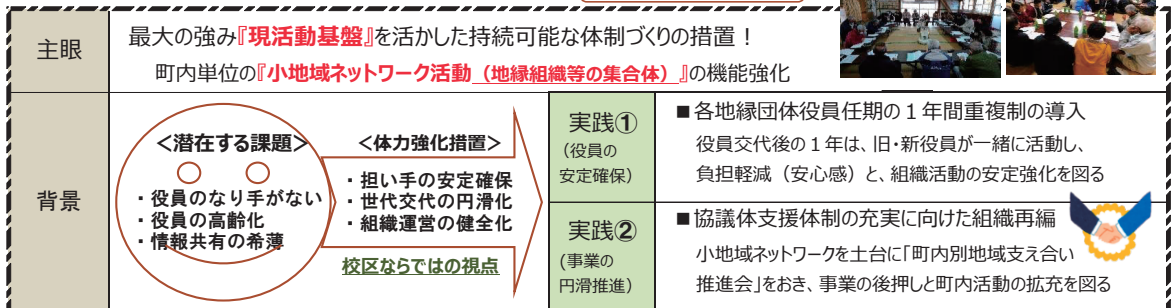
【校区の状況】

概要	中山間地に位置し坂道が縦横無尽に走る。病院もスーパーもなく。人口1,521人、高齢化率44.5%の限界集落が目前。などの多種多様な地域課題（生活環境）が潜在。ただ、そこには歴史が刻んだ産業遺産群が連なる文化的価値や住民、地域間の強固な連携意識が宿り、他校区に誇れる自然環境、人的資源が地域土壌に存在する。		
窮状	<p>(昔は)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各町内に商店があった。 路線バスが走っていた。 診療所があった。 	<p>(今は)</p> <ul style="list-style-type: none"> 何もかもなくなり、人は減り、高齢者と一人暮らし世帯が増加 	<p>(共通の嘆き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物、病院受診等が大変、せめて公共交通の整備でも... 免許証返納にフレキ タクシー代だけでも大変

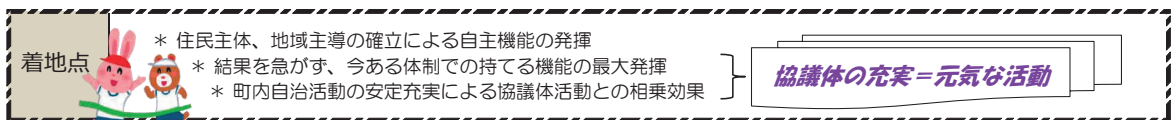
【協議体設置までの道程】



【取組みの方向（推進体制の強化）】



【目指す事業推進の基本成果】



ポイント：「身の丈に合った協議体の設置」を踏まえた「住民の知恵と工夫」による負担のない事業推進 !!

